

# 事業完了報告書（実行団体）

事業名:	コロナ対策としてのこども宅食
資金分配団体名:	中国5県休眠預金等活用コンソーシアム
実行団体名:	特定非営利活動法人とりで
実施時期:	2020年 7月～2021年 12月
事業対象地域:	山口県・広島県
事業対象者:	子どもとその保護者

Version 3.2

日付: 2022年1月14日

## I. 事業概要

事業実施概要	コロナ禍における収入減・育児負担、虐待の発生リスクの軽減を目的として①食事支援②保護者の家事負担軽減③子ども達の家庭での様子の把握④保護者とのコミュニケーションを実施した。具体的には3中学校区で毎月1回ずつ当法人とかかわりのある家庭に希望を取り、市内の飲食店で購入したお弁当を無料で配布した。
--------	--

## II. 課題・事業設計の振り返り

課題設定、事業設計に関する振り返り	宅食を利用している家庭のうち、要対協のケースや母子家庭世帯、ショートステイ利用世帯は7割程あり「お弁当を無料で配布する」という方法は、閉鎖的な家庭に介入する良いきっかけとなっている。当事業を振り返るにあたり、宅食利用家庭に対してアンケートを実施した。利用家庭のほぼ全家庭が「宅食を利用して良かった」と回答し、その理由として「食事の準備をしなくてよい」「無料でお弁当をもらえる」「とりでの職員と話せる」を複数の保護者が選択していた。実際の宅食では、お弁当を届けつつ保護者と話し、子どもの気になること等を保護者が話し始めてくれた時は、傾聴し関係構築を図っている。それに伴い、アンケートの回答で「大体の配達時間を教えてほしい」との意見があったが、各家庭にかかる時間が不明確なため、スムーズな事業実施と事業目的達成の両立を図れるよう、工夫していきたい。加えて、宅食の利用に遠慮を感じている家庭も少なくなく、チラシだけでは希望者が集まらない場合もある。「保護者分も無料でお弁当を提供する」という点が強みであるが、遠慮を生むキーワードにもなっており、今後も当事業を継続して行う中で解決していきたい課題である。
-------------------	--

## III. 今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）※複数設定の場合はコピーし複数記載ください。

①受益者	②課題	③今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	④指標	⑤目標値・目標状態	⑥結果	⑦考察
子ども・学生	居場所の不足	良好な関係を築き、何かあった時に当法人を頼れるような状況にある。	1.当法人の複数の活動に参加している人数 2.当法人との関係性をポジティブに感じている人数	1.1150名 2.アンケート実施し、ポジティブに感じているのが7割	1.1159名 2.9割	複数の活動に参加する子どもが増えたことで、関わる「場面」は増えたが、一度に複数名と関わる事になり、個別の関わり機会が減った。子どもたちとの関係を大事にし『子どもにとって居心地が良い場所』にしていきたい。また、活動について「楽しい」「落ち着く」「活動回数を増やしてほしい」等のポジティブな回答がほとんどだったが、とりでの活動に参加する理由として「家にいてもつまらない」と答える人が10%おり、そういった子どもたちにとって、居場所になれていることは当法人の活動目標の通りであり、今後も活動を継続していきたい。
その他	相談先の不足	1.家庭の状況を把握し、必要な家庭への支援が出来ている。2.子育ての悩みを家族以外に相談出来る状態である。3.良好な関係を築き、何かあった時に当法人を頼れるような状況にある。	1.お弁当の配布回数、家庭数 2.子育て相談件数 3.ショートステイや個別学習支援の件数 4.当法人との関係性をポジティブに感じている人数	1.延べ1110個、470件 2.20件 3.ショートステイ150件、個別学習支援50件 4.アンケート実施し、ポジティブに感じているのが7割	1.延べ1121個、401件 2.215件 3.ショートステイ：28名(延べ130日利用) 個別学習支援：47件 4.8割	宅食を利用した感想については「II. 課題・事業設計の振り返り」でも触れているが97%が「良かった」と回答し、保護者の負担を減らすことが目的でもある為、その手ごたえを感じられる結果になった。利用者数増加に伴い、宅食で訪問した際に子どもや親の悩みを聞く時間を取ることが難しくなっている。とりでの活動が認知されてきたので、もう少し余裕をもって悩みに寄り添い、親への支援についても意識して活動したい。アウトプットの2と3に基づき、目標値2と3の結果については、宅食利用者だけではなく、すべての活動でのかかわりの結果を出している。とりでの多角的なかかわりが、地域の子育て家庭にとって安心できる存在となるよう今後も活動していきたいと考える。
ひとり親						

## IV. アウトカム（事業実施以降に目標とする状況）\*

事業実施以降に目標とする状況	岩国地域・大竹地域において、要支援家庭74件に対する食事支援やその他支援(子どもに対する学習支援やその他機会の提供、保護者の抛り所の確保)が継続されている。保護者が子育てについて一人で抱え込まず、虐待を未然に防ぐことが出来ている状態。家庭や学校以外に、子どもの居場所がある状態。
考察等	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の継続の為に、人員と運営資金の確保が必要である。その為に計画的なファンドレイジングを行い、安定した寄付収入と助成金の獲得を目指す。</li> <li>こども食堂については、地域支援担当職員に加え、当法人が運営するホームの職員が準備を手伝う体制をとってきた。活動を継続的に開催することが子どもの居場所づくりとなっているが、回数や地域を増やす等規模を拡大し、子どもに目を向けていくには活動の運営体制を整える必要があると考える。(地域支援担当職員の増員等)</li> <li>活動を継続することに加え、気になる子どもや家庭については関係機関と密に連携し、多角的に支援を行っていく。</li> </ul>

V. 活動

活動	進捗	概要
当法人とかかわりのある家庭へ希望をとり、希望があった家庭に対して市内の飲食店で購入したお弁当を法人職員が届ける。	計画通り	・宅食の日時については毎月他の活動と併せてチラシで案内をしている。こども食堂やとりで塾、モーニング等の活動は予約不要で活動開催時に子どもたちが集まってくるが、宅食については希望者から連絡を待つのが基本である。そうすると遠慮があるのか家庭からの希望の連絡が少なく、こちらから「宅食の利用はどうですか？」と声を掛けて初めて希望されることが多い。遠慮なく利用しやすくなるような案内を検討していきたい。

VI. 想定外のアウトカム、活動、波及効果など

想定外のアウトカム、活動、波及効果など	特にありません。
---------------------	----------

VII. 事業終了時の課題を取り巻く環境や対象者の変化と次の活動

課題を取り巻く変化	この事業を通してお弁当を自宅に届けた際、とりでこども食堂やとりで塾・とりでモーニングへの活動の参加を促すことで、他の活動に参加しやすくなったとの声が聞かれている。事業以外の状況の変化として、こども食堂の開催地域の増設により何らかの支援が必要と思われる子どもや家庭の新たな発見に繋がり、大竹地区でのとりで塾・とりでモーニングを開始したことで、食堂以外で子どもとかかわる場面が増えた。このように活動規模が拡大することで、支援が必要な家庭へ介入する機会をより多く得て、対象者にとって前向きな提案が出来るようになってきていると考える。地域の子育て家庭にとって何かあった時に頼れる場所を目指し、関係性を構築できるよう、今後も活動規模の拡大を図っていく。
-----------	---

VIII. 他団体との連携

連携先	実施内容・結果
岩国市内、和木町、大竹市内の飲食店	お弁当の購入
岩国市、和木町、大竹市の家庭児童相談室	情報共有
地域の小中学校	情報共有
岩国児童相談所	情報共有

IX. インプット ※事業完了月の月次収支管理簿の金額を入力ください。（精算金額と一致させる必要はありません）

…		計画額	実績額	執行率
事業費	直接事業費	1,881,000	2,078,320	110.5%
	管理的経費	289,000	631,334	218.5%
合計		2,170,000	2,709,654	124.9%
補足説明				

X. 広報実績

広報内容	内容
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	
2.広報制作物等 当該事業費を使って製作したもの	
3.広報制作物、購入物等でシンボルマークの活用方法（事例）	・宅食時に利用する車両にシンボルマークのシールを貼っている。 ・宅食で使用する書類を綴じるファイルにシンボルマークのシールを貼っている。
4.報告書等	

XI. ガバナンス・コンプライアンス実績

①規程類※の整備実績 ※規程類：定款・規程及び準ずる文書類(指針・ガイドライン等を含む)	状況	内容
1.事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。	完了	全て作成し、HPに掲載した。
2.上記設問1で「整備中」の場合は、事業開始時と比較して、整備状況がどのように改善されたかを記載してください。		
3.整備が完了した規程類を自団体のwebサイト上で広く一般公開していますか。	全て公開した	
4.変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。	変更はなかった	
②ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容

1. 社員総会、評議員会、理事会は、規程類の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	いいえ	今年度規程を作成、今後運用する。
3. 関連する規程類や資金提供契約の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	
4. コンプライアンス委員会またはコンプライアンス責任者を設置していましたか。	はい	
5. ガバナンス・コンプライアンスの整備や強化施策を検討・実施しましたか。	はい	理事会で協議し、規程内容を議論、作成した。
6. 報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。 (実施予定の場合含む) (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 外部監査	
	<input type="checkbox"/> 内部監査	
	<input checked="" type="checkbox"/> 実施予定はない	
7. 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。	いいえ	
8. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	

XII. その他

自由記述